● 社会活動状況 ● 2017.1.1～12.31

2017.12.19
◆宮崎県家畜防疫連携会議◆
開催場所: 宮崎県庁（宮崎市） 約 80 名
内容: HPAI 対策、水際·地域・農場防疫について

2017.12.15
◆宮崎県獣医師会理事会◆
開催場所: マリックスホテル（宮崎市） 25 名
内容: H30 年度計画について

2017.12.6
◆H30 年度農林水産省イノベーション創出強化研究推進事業推進会議◆
開催場所: 宮崎県畜産試験場川南支場（川南町） 8 名
内容: 新世代豚舎システム研究について

2017.12.4
◆野生獣衛生体制整備推進会議◆
開催場所: 宮崎県畜産会館（宮崎市） 8 名
内容: 野生獣衛生体制整備推進確立対策事業について

2017.12.2
◆口蹄疫復興状況視察◆
開催場所: 2010 年口蹄疫被災地跡遠景(高鍋町、川南町) 参加者 20 名
内容: 口蹄疫復興状況視察

2017.12.1
◆第 6 回 JASV 口蹄疫終息記念セミナー◆
開催場所: サンＡ川南町文化ホール（トロントロンドーム）(川南町) 参加者 約 150 名
内容:
□近隣諸国の伝染病発生状況と我が国の防疫体制について
□牛白血病（BL）の現状と課題
□畜産現場の飼養衛生管理強化と新しいバイオセキュリティ強化資材について

2017.11.28
◆農研機構畜産研究部門 防疫講習会◆

開催場所: 農研機構畜産研究部門大会議室(つくば市) 参加者 200 名
内容:　口蹄疫などが近隣で発生した時の影響と日常の防疫体制

2017.11.28
◆関東・東海・北陸試験研究推進会議◆
場所　筑波事務所大ホール(つくば市)　 参加者 60 名
内容: 現地実証飼養試験を行う場合での防疫上の留意点

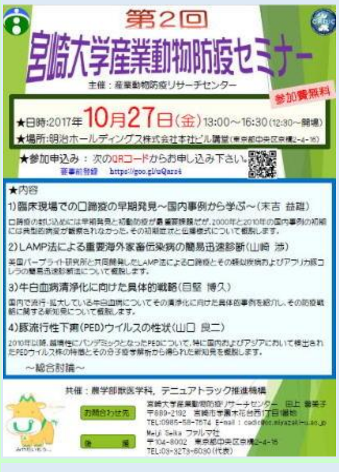
2017.11.17
◆野生獣衛生体制整備推進確立対策事業現地調査◆
開催場所: 鳥獣害被害対策支援センター(高崎市) 参加者 5 名
内容:　野生獣(シカとイノシシ)の被害対策について

2017.11.16
◆野生獣衛生体制整備推進確立対策事業現地調査◆
開催場所: 群馬県畜産協会(前橋市) 参加者 7 名
内容:　野生獣(シカとイノシシ)の家畜共通疾病状況調査経過について

2017.11.10
◆平成 29 年度宮崎県家畜保健衛生所業績発表会◆
開催場所: 宮崎総合農業試験場（宮崎市） 約 80 名
内容:　家畜保健衛生所業績発表会審査

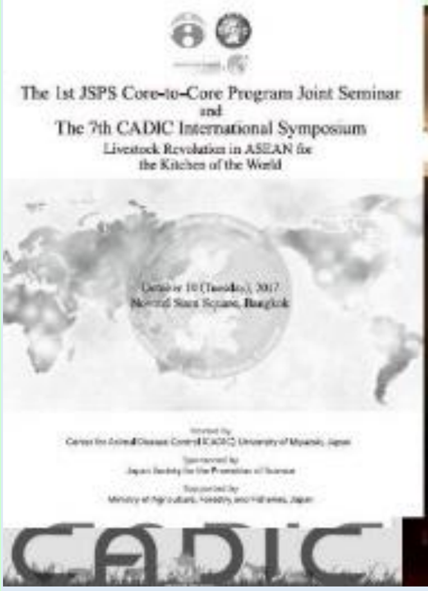
2017.11.2
◆養豚セミナー◆
開催場所: TKP 札幌カンファレンスセンター(札幌市) 参加者 約 50 名
内容:　養豚におけるプロバイオティクスの活用について

2017.10.27
◆第 2 回宮崎大学産業動物防疫セミナー◆
開催場所: 宮明治ホールディングス株式会社本社ビル講堂(東京都)
内容:
1）臨床現場での口蹄疫の早期発見～国内事例から学ぶ～(末吉 益雄)
口蹄疫の封じ込めには早期発見と初動防疫が最重要課題だが，2000 年と 2010 年の国内事例の初期には典型的病変が観察されなかった。その初期症状と伝播様式について概説した。
2）ＬＡＭＰ法による重要海外家畜伝染病の簡易迅速診断(山崎 渉)
英国パーブライト研究所と共同開発したＬＡＭＰ法による口蹄疫とその類似疾病およびアフリカ豚コレラの簡易迅速診断法について概説した。
3)牛白血病清浄化に向けた具体的戦略(目堅 博久)
国内で流行･拡大している牛白血病についてその清浄化に向けた具体的事例を紹介し，その防疫戦略に関する新知見について概説した。
4)豚流行性下痢(PED)ウイルスの性状(山口 良二)
2010 年以降，越境性にパンデミックとなった PED について，特に国内およびアジアにおいて検出された PED ウイルス株の特徴とその分子疫学解析から得られた新知見を概説した。
～総合討論～



2017.10.10
◆The 1st JSPS Core-to-Core Program Joint Seminar and The 7th CADIC International Symposium -Livestock

Revolution in ASEAN for the Kitchen of the World -◆
開催場所: Novotel Siam Square, Bangkok
内容:
Keynote Speech
Chair person: Tuangthong Patchimasiri (Expert on Research in Small and Large Animal Diseases, DLD)
“Work of the world reference laboratory for FMD to monitor transboundary livestock diseases outbreaks”
Donald King (The Pirbright Institute)
Kick off Lecture
Chair person: Naoaki Misawa (Director of CADIC, UOM)
“Current situation of important animal infectious diseases in Thailand and Indonesia.
Thailand; Sith Premashthira, (Bureau of Disease Control and Veterinary Services/SEACFMD National Coordinator)
IndonesiaI; Bambang Pontjo Priosoeryanto (Professor, IPB)
Special Lecture
Chair person: Masuo Sueyoshi (Vice director of CADIC, UOM)
“Technical Cooperation and Collaboration on FMD between Thailand and Japan”
Kenichi Sakamoto (Director General, National Institute of Animal Health, NARO)
New diagnosis tools for detecting pathogens of livestocks
“Highly sensitive detection of avian influenza virus in environmental samples using a new virus concentration technique”
Wataru Yamazaki (Associate Professor, UOM)
“Development of a novel detection system for multiple microbes by Dembo/Denpo-PCR”
Tsutomu Omatsu (Lecturer, TUAT)
Alarming infectious diseases for livestock
Bovine respiratory diseases
Thailand; Kittisak Ajariyakhajorn (Associate Professor, CU)
Indonesia: Surachmi Satyaningsih (Associate Professor, IPB)
Bovine diarrhea diseases
Thailand: Chaiyapas Thamrongyoswittayakul (Assistant Professor, KKU)
Indonesia: Retno Wulansari (Associate Professor IPB)
Vesicular diseases
Diagnosis: Vasinee Srisombundit (PhD student, KU)
Movement: Teradsak Yano (Assistant Professor CMU)
Simulation model: Satoshi Sekiguchi (Associate Professor, MOU)
Food Safety
“Development of an effective decontamination of Campylobacter species on chicken carcasses”
Torrung Vetchapitak (PhD student, UOM)
“Distribution of Campylobacter in commercial broilers production in Thailand”
Sakaoporn Prachantasena (Lecturer, PSU)



2017.9.29
アニマルウェルフェア・シンポジウム in 宮崎◆
～わが国の産業動物の現状と今後を考える～

開催場所: ニューウェルシティ宮崎(宮崎市)　参加者　180 名
企画内容:
○わが国の産業動物分野におけるアニマルウェルフェアへの対応（農林水産省の取組み）　江上 智一（農水省）
○アニマルウェルフェアの背景・歴史と EU の法律（AW 基礎講座）　伊藤 秀一（東海大）
○アニマルウェルフェアをめぐる海外の取組み事情　佐藤 衆介（帝京科学大）
○養牛分野におけるアニマルウェルフェア取組み状況と課題　竹田 謙一（信州大）
○養豚場におけるアニマルウェルフェア取組み事例と課題　稗田 直輝（JA 北九州ファーム）
○養鶏場におけるアニマルウェルフェア取組み事例と課題　一柳 憲隆（丸一養鶏場）

2017.9.27
第 13 回家禽疾病講習会◆
開催場所: 宮崎大学 農学部(宮崎市)　参加者　計 75 名
企画内容:
○鳥インフルエンザの検査方法 ～講義と演習～採血、気管・ｸﾛｱｶｽﾜﾌﾞ 採材、AI 検査、防疫服着脱～
白井 葵 先生、吉田 恵理苗 先生(宮崎県家畜保健衛生所)
○家禽と野鳥における高病原性鳥インフルエンザ感染病態～感染実験による検証～
山本 佑 先生(農研機構動物衛生研究部門)
○より効果的な消毒のために～講義と演習～
野中 大樹 先生（Meiji Seika ファルマ社）

2017.9.14-18
中国畜牧獣医学会養猪学分会 2017◆

開催場所 :中華人民共和国(重慶市) 参加者
発表内容：成長促進目的の抗菌薬を使用しない養豚に向けて

2017.9.1
九州・沖縄地区予選競技大会(牛削蹄)◆
開催場所 :霧島ロイヤルホテル(鹿児島県) 参加者　約 80 名
発表内容：牛白血病 その広がり方は口蹄疫と違う！

2017.8.31
平成２９年度地域豚疾病緊急対策推進事業連携会議◆
場所 ： 宮崎県立農業大学校　農業科学館（イベントホール）(川南町) 参加者 約 50 名
内容　特定疾病（AD/PRRS）フリーの効果と海外の家畜伝染病の発生状況

2017.8.30
平成 29 年度宮崎県家畜防疫研修会◆
場所 ： 宮崎市民プラザ（オルブライトホール）(宮崎市) 参加者 約 150 名
内容　海外の家畜伝染病の発生状況と侵入防止対策

2017.8.25
平成 29 年度家畜疾病、自然災害緊急支援体制整備事業第 1 回推進委員会◆
開催場所 ： 中央畜産会(東京) 参加者　11 名
内容：備蓄用の機材、資材、備蓄場所について

2017.8.14
Joint Seminar on Porcine Epidemic Diarrhea (PED)◆
開催場所 ：Univ. of Vet. Sci., Myanmar (Nay Pyi Taw, Myanmar) 参加者 約 200 名
内容：1. Pig Production and Pig Diseases in Myanmar
2. Pathological characteristic of porcine epidemic diarrhea
3. Spatial dynamics of porcine epidemic diarrhea (PED) spread and
epidemiological factors associated to spread of PED in Japan
4. Impact of porcine epidemic diarrhea on individual sow productivity
5. General molecular epidemiology of porcine epidemic diarrhea virus (PEDV)
and our studies of PEDV in Japan
6. Molecular characterization of US-like and Asian non-S INDEL strains of
porcine epidemic diarrhea virus (PEDV) that circulated in Japan during 2013–2016 and PEDVs collected from recurrent outbreaks

2017.8.5
病性鑑定◆

場所: 養豚場(日南市)
内容:　薬剤耐性菌モニタリング

2017.8.4
第 19 回宮崎県豚病研究会◆
開催場所 :ニューウェルシティ宮崎(宮崎市) 参加者 32 名
内容：
参加者全員による近況報告(養豚関連)
発表演題
1.同農場で同時期に発生した TGE と PED(JA 経済連)
2.PCVAD を疑う発育不良豚の病理(大学)
3.と畜場における車両消毒指導(家畜保健衛生所)
4.妊娠後期の母豚流産発生例(開業)
5.哺乳期の App 事例(製薬企業)

2017.8.2
高病原性鳥インフルエンザ発生防止に係る対策会議◆
開催場所: 宮崎大学　参加者 6 名
内容:　養鶏農場への野生動物進入防止監視対策について

2017.7.31
地域豚疾病緊急対策推進事業に係る事業推進検討会◆
開催場所 :全国家電会館(東京) 参加者 12 名
内容：自衛防疫が主体となる地域豚疾病緊急対策推進について

2017.7.27
第 21 回 九州・山口・沖縄病理事例研修会◆
場所 : 鹿児島大学(鹿児島市)　出席者 58 名
内容 : 家畜疾病病理診断について

2017.7.20
平成 29 年度宮崎県-宮崎大学農学部連携協議会◆
開催場所 :宮崎大学住吉フィールド、宮崎県総合農業試験場(宮崎市) 参加者 約 40 名
内容：GAP 、スマート農業、研究・人材育成に関する取り組み

2017.7.14
宮崎県畜産新生局との意見交換◆
開催場所 : 宮崎大学農学部(宮崎市) 参加者　5 名
内容：研究･調査･教育連携について

2017.7.12
宮崎県養鶏獣医師協議会◆

開催場所 ： 宮崎県宮崎家畜保健衛生所(宮崎市) 参加者　45 名
内容：
１．株式会社 ジャパンファームチキン事業本部 生産部 種鶏課 湯元 稔
「肥育農場における Ms 凝集抗体陽性事例と対策について」
２．コーキン化学株式会社 内田幸治
「養鶏における薬剤耐性の現状と対応」
３．共立製薬株式会社 先端技術開発センター開発２部長兼ワクチン１グループ課長 河合 透
「マレック病対策の変遷」
４．日生研株式会社 企画学術部 部長 林 志鋒
「最近の IB の発生状況について」
５．日本ニュートリション BIOMIN JAPAN 株式会社 獣医師 須永 修
「鶏の腸管について」タイトジャンクション、生菌剤活用の意味

2017.7.11
宮崎大学 2017 公開講座 〜STOP 口蹄疫〜海外渡航･外国人招聘時注意しておくべきこと〜◆
場所：宮崎大学農学部(宮崎市) 参加者　約 80 名
内容：1. 水際防疫の最前線〜動物検疫所の仕事〜
齋藤 恵 主任検疫官(農林水産省動物検疫所門司支所鹿児島空港出張所)
2. 口蹄疫〜国内事例と海外の発生状況〜
末吉益雄 防疫戦略部門長(宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター)

アンケート集計

2017.7.7
養豚場調査◆

場所：鹿児島県養豚場
内容：バイオセキュリティと離乳後下痢について

2017.6.29
豊橋市畜産防疫対策協議会◆
場所：　愛知県東三河農業改良普及指導センター(豊橋市)　参加者　約 60 名
内容：　口蹄疫の教訓と防疫

2017.6.27
宮崎県獣医師会定期総会◆
開催場所: 宮崎県畜産会館(宮崎市)　参加者　98 名
内容:　平成 28 年度決算、平成 29 年度予算案について

2017.6.24-27
病性鑑定◆
場所: 養豚場(日南市)
内容:　離乳後下痢症検査

2017.6.15
病性鑑定◆
場所: 養鶏場(高鍋町)
内容:　壊死性腸炎疑い検査

2017.6.9
病性鑑定◆
場所: 養鶏場(高鍋町)
内容:　壊死性腸炎疑い検査

2017.6.7
野生獣衛生体制整備推進確立対策事業技術専門委員会◆
開催場所: 中央畜産会(東京) 12 名
内容:　平成 28 年度事業実績報告、平成 29 年度事業計画

2017.6.7
野生獣衛生体制整備推進確立対策事業中央推進企画委員会◆
開催場所: 中央畜産会(東京) 10 名
内容:　平成 28 年度事業実績報告、平成 29 年度事業計画

2017.6.2
宮崎県獣医師会理事会◆
開催場所: 宮崎県畜産会館(宮崎市)　参加者　30 名
内容:　総会議事、狂犬病ワクチン、平成 29 年度予算案について

2017.5.22
家畜防疫講習会◆
開催場所: 京都市中央卸売市場第二市場(京都市)　50 名
内容:　口蹄疫と豚流行性下痢の現状と対策

2017.5.9
JSPS core to core project meeting with DLD, Thailand◆
開催場所: 宮崎大学農学部(宮崎市)　20 名
内容:　Differential diagnosis for vesicular diseases in swine/bovine

2017.5.4
Bilateral conference between the National Pingtung University of Science and Technology and University of Miyazaki ◆
開催場所: 屏東科技大學(台湾屏東市)　約 60 名
内容:　Common bacterial enteritis of swine in Japan

2017.4.13
高病原性鳥インフルエンザ発生防止に係る対策会議◆
開催場所: 宮崎県庁会議室　15 名
内容:　養鶏農場全戸巡回による立入指導について

2017.3.29
高病原性鳥インフルエンザ発生防止に係る対策会議◆
開催場所: 宮崎県庁会議室　15 名
内容:　養鶏農場全戸巡回による立入指導について

2017.3.22
宮崎県獣医師会理事会･役員会◆
場所 : 畜産会館(宮崎市) 参加者　約 30 名
内容 : 活動報告、活動計画について

2017.3.15
小林市･宮崎大学農学部連携実行委員会◆
開催場所: 小林市文化会館(小林市)参加者　約 30 名
内容:　小林市と宮崎大学農学部との連携テーマについて
1）省力的・永続的な粗飼料生産体系の確立
2）畜舎消毒効果の検証
3）農地保全水路に付着する温泉スケールの除去軽減方法

2017.3.14
日本養豚大学校シンポジウム◆
開催場所: 日比谷コンベンションホール(東京)参加者　約 60 名
内容:　第I期から第III期の活動報告、修了生レポート、講演(繁殖、従業員教育)、パネルディスカッションなど

2017.3.9
豚流行性下痢(PED)まん延防止体制支援強化事業推進対策事業委員会◆
開催場所: 家電会館（東京）参加者　16 名
協議内容:　豚流行性下痢(PED)まん延防止体制について

2017.3.6
平成 28 年度レギュラトリーサイエンス事業研究推進会議◆
開催場所 : 農林水産省消費・安全局(東京)参加者　7 名
内容:コロナウイルスによる豚の下痢を呈する伝染性疾病（PED 等）の検査手法の開発及び体内動態解明に係る研究について

2017.3.3
日泰韓シンポジウム◆
開催場所: 宮崎大学まちなかキャンパス (宮崎市)参加者　約 30 名
内容:　THE CURRENT STATUS ON TRANSBOUNDARY DISEASES
Dr. Han Sang Yoo (Professor, College of Veterinary Medicine, Seoul National University, Republic of Korea)
“The Current Status on Transboundary Diseases in Republic ofKorea”
Dr. Pranee Roditian (Director of Regional Reference Laboratory for FMD in South East Asia, Thailand)
“Current status on FMD in South East Asia”
Dr. Dachrit Nilubol (Professor, Chulalongkorn University, Thailand)
“Genetic diversity and evolution of PED virus in Thailand”
Dr. Tamaki Okabayashi (Associate Professor, Vet. Microbiology, Dept.of Veterinary Science, Faculty of Agriculture, University of Miyazaki)
“Diversity of PED virus in Japan”
Dr. Hyuk Joon Kwon (Assistant Professor, College of Veterinary Medicine, Seoul National University, Republic of Korea)
“HPAI, again but different”
Dr. Inhyung Lee (Professor, College of Veterinary Medicine, Seoul National University, Republic of Korea)
“Clinical examination and epidemiological investigation of equine ataxia in Korea and introduction of FACTRC in SNU

2017.2.24-26
日本獣医師会獣医学術学会年次大会◆
開催場所: 石川県立音楽堂(石川市)参加者　1600 名
発表内容:　家畜衛生関連調査・研究について

2017.2.23
日本豚病臨床研究会◆

開催場所: ゆのくに天祥(加賀市)参加者　20 名
発表内容:　豚流行性下痢(PED)中和抗体価を利用する上での留意点.

2017.2.17-19
第７回宮崎県養豚従事者基礎研修会◆
場所：宮崎大学農学部(宮崎市) 参加者　約 60 名
内容：豚の栄養と飼料から豚の食育・ソーセージの作り方まで

2017.2.15
野生獣衛生体制整備緊急対策事業中央推進委員会◆
開催場所: 中央畜産会（東京）参加者　8 名
協議内容:　野生獣(シカとイノシシ)の家畜共通疾病状況調査経過について

2017.2.15
野生獣衛生体制整備緊急対策事業技術専門委員会◆
開催場所: 中央畜産会（東京）参加者　11 名
協議内容:　野生獣(シカとイノシシ)の家畜共通疾病状況調査経過について

2017.2.9
第５８回九州・沖縄ブロック家畜保健衛生業績発表会◆
場所：沖縄県庁(那覇市) 参加者　約 120 名
内容：家畜保健衛生調査研究について

2017.2.1
平成 28 年度食鳥処理衛生管理者登録講習会◆
場所 ： ニューウェルシティ宮崎(宮崎市) 参加者　110 名
講演内容 ： 家禽疾病学